



Bora Bora Pearl Beach Resort & Spa



2011年 4月号

27 April, 2011

www.spmhotels.com



Te Tiare Beach Resort

つぶやいています！ <http://twitter.com/PEARLRESORTS>



Moorea Pearl Resort & Spa

モーレア・パール・リゾート&スパ
日本人ゲストリレーション： 久保田 千尋



「Moorea Blue Diving」での体験ダイビング

モーレアパールの敷地内にダイビングセンター『Moorea Blue Diving』があります。以前SPM通信でご紹介させていただいたことがありますが、最近、体験ダイビングをされるお客様も多いので、改めてご紹介させていただきます。

ダイビングセンターは、レストラン側のビーチバンガローの並びにあります。体験ダイビングは、ホテルからボートで6分ほどのところにあるスポットで行います。日曜日以外の午後12時30分からおよそ2時間です。

ダイビングスポットに行く前に、ボートの上で『大丈夫』や『耳抜きをしてください』などの簡単なサインの説明があります、また、機材やダイビングスーツは全て料金に含まれており、スタッフが丁寧に指導してくれますので、安心して潜れます。また、全く体験ダイビングをしたことがないお客様には、私が日本語でサインや注意点の説明をさせていただきますので、ご心配なさらないでください。



説明の後、水の中で35分から40分ほど潜ります。少しずつ降りていきますので、初めての方でも大丈夫。耳抜きをしやすくするため、前日の夜はクーラーを消して寝てくださいね。水温は一年を通して26℃から29℃ととても心地よく、いたるところにお魚がいて、まるで水族館の水槽の中で泳いでいるようです。深くても6mほどまでしか潜りませんが、頻りにカメに出会えるスポットなので、水中カメラは必須。DVD撮影も行っておりますので、記念にお求めになる方は、事前に私かダイビングセンターのスタッフまでお声をかけてください。



ライセンスをお持ちの方は、午前中2本潜りにいきます。ホテルから15分ほどボートで行ったところに、1本目はレモンシャークなどのサメを、そして2本目はカメやイルカに出会えるスポットがあります。日によって、季節によって見られるものは様々ですが、6月から10月はクジラの子供の出会える季節です。生まれたばかりの赤ちゃんクジラに出会うことも……。

ライセンス取得希望のお客様は、英語かフランス語での試験になりますが、3日間あればPADIまたはCMASライセンス取得が可能です。

初めての方も、経験者の方もぜひ真っ青なモーレアの海でのダイビングをお楽しみください。



Bora Bora Pearl Beach Resort & Spa

＊ボラボラ・パール・ビーチ・リゾート&スパ＊

日本人ゲストリレーション： 鈴木 義嗣（よしつぐ）

日本人ゲストリレーション： 伊藤 孝子



ボートレンタル

先日、アクティビティのボートレンタルを行いました。ボラボラ島をととても満喫しましたので、今回はその流れについてご案内させていただきます。



当リゾートではアクティビティデスクでボートレンタルのご予約が出来ます。出発場所はマティラ岬からとなり、催行時間は4時間、8時間とお選び頂けます。4時間ではノンストップでボラボラ島を一周出来、ライセンスをお持ちの方は15馬力のボート、お持ちでない方は6馬力のボートをレンタルすることが可能です。始めにガイドの方からボートの説明、おすすめの場所などのご案内があります。英語やフランス語が出来ない方でも日本語の説明書がございますので安心してご利用頂けます。

壮大なラグーンにボートを走らせ、スカイブルーの景色を一面に臨みながら、プライベートボートでのクルージングは最高です！コーラルガーデンでカラフルな魚と泳いだり、ビーチへ行き燦々と降り注ぐ太陽を浴びてゆっくりくつろいだり、交代で運転したり、オテマヌ山とラグーンをバックに写真を撮ったり、時間はあっという間に過ぎてしまいますが、2人だけで好きな場所へ行き、2人だけの時間を過ごすことができ、ハネムーナーには2人だけの特別な時間を満喫できるアクティビティです。

ご家族でお越しの場合はパブリックビーチに行ったり、ちょっと小腹が空いたら近くのお店にいたり、ビーチやボートでピクニックなどもおすすめです。栈橋にボートを止め、近くのレストランでランチなどもいいかもしれませんね。



このボートレンタルで壮大なラグーンで自分たちだけのクルージングを楽しみ、ボラボラ島を満喫してみたいかがでしょうか。



MANIHI Pearl Beach Resort

＊マニヒ・パール・ビーチ・リゾート&スパ＊
日本人ゲストリレーション： ホカフウ さつき



マニヒパールビーチリゾートの朝食

皆様、こんにちは。

3週間の有給休暇中、2週間子供達と一緒にTAHITIに滞在していました。公園が大好きな子供達と毎日ブーゲンビルとパオファイ公園に行き1日中過ごしていました。子供達は「よく飽きないわね」と感心する程、毎日思う存分遊びました。公園は気持ちが和んで良いですね。特にパオファイ公園は屋根付きでベンチテーブルがある所があるのでとっても助かりました。

さて、今月はMANIHIの朝食をご紹介します。朝食は、基本的にはアメリカンブレックファスト（ABF）とコンチネンタルブレックファスト（CBF）、カヌーブレックファストの3種類ですが、プチABFというものもあり、今回はこのプチABFをご紹介します。

このブチ ABF とは、お飲み物以外は冷たいものがビュッフェスタイルになり温かいお料理は（玉子料理、ベーコン、ウインナー、バークドポテト、ハッシュドポテト etc）はオーダーサービスになります。



フルーツジュース&冷水



コーヒー&紅茶&ココア



クロワッサン&デニッシュ各種&パン各種



ケーキ各種&ドライフルーツ各種



シリアル各種&牛乳



ジャム各種&ヨーグルト各種



フルーツ各種&ハム&チーズ各種



日本が誇るお味噌汁
(見えていませんがお湯のポットが上にあります)

これらに卵 3 個は使っているだろうと思われる大きなオムレツなどオーダーすれば、とってもボリューム満点の朝食になりますね。以前、目玉焼きを召し上がられたお客様は“絶品”と褒められていました。

また、日曜日の朝食は特別で、ABF にポワソクリュとフリフリ（揚げパン）、プアロチ（ローストポークハム）が加わります。日曜日は村の人たちが家族や友達とこの朝食目当てによくやってきます。ちなみに私は日曜日には大好きな豚足をよく食べます。

さて余談ですが、TAHITI では、MAHINA という地区にある友達の家滞りました。近所に小さなビーチを見つけたので喜び勇んで子供達と一緒にそのビーチに行き、波打ち際からかなり離れたところにサンダルを脱ぎ裸足になって“気持ち良いね”なんて笑って立っていたら、突然波が勢いよく私達の立っているよりもかなり先まで押し寄せてきて、剣のクロックスと私のサンダルを波にさらわれてしまい、剣のクロックスはすぐに波に戻され取り返したものの私のサンダルは波の上にとずっと浮かんだまま…。

このままだと遠くに流されてしまうと思い、足がつく深さまで歩いて行ったものの波が来たら思いきり深くなり、結局泳ぐはめに…。サンダル片手に波で中々進めない私を見て、美蘭は私が溺れていると思い“ママ～”と泣きながら、海に近付こうとするので、“ママ大丈夫だから、遠くに行きなさい”と泳ぎながら叫ぶ始末。

サンダルを取り戻し、家に帰りホッとしたのも束の間、私のサングラスが無い事に気がつき、胸につけたまま海に入ってしまった事を思い出し、再びそのビーチに引き返し、今度はまずサンダルとバッグを遠くに置いてあるカヌーの上に置き波に用心しながら 20 分位探したけれど見つける事が出来ず、美蘭が“ママのサングラス、人魚が見つけたんだよ”なんて言うので、私も“サングラス、人魚にあげましょう”と諦めました。

MAHINAの海は波がとても勢いよく、かなり遠くまで打ち寄せ引く波も強く、おまけに左右からやってくるのでかなり危険です。波に慣れてない美蘭と剣は思わず転び、美蘭は大笑い、剣は泣いちゃいましたもの。私も洋服のまま海に入って泳いだのなんて何十年ぶりの事かしら？
今では思いっきり笑い話ですが、MAHINAのビーチに行かれる機会がありましたら、皆様ぜひご用心されて下さいね。

余談が長くなってしまいましたね。それでは皆様、また来月お逢い致しましょう。

さつき



MANAVA SUITE RESORT TAHITI

***マナバ・スイート・リゾート・タヒチ ***
日本人ゲストリレーション： 田之上 愉香（たのうえ ゆか）



日本のイベント

先日4月3日(日)にパペーテ市内にあるブーゲンビル公園にて、東日本大震災の被災者の方々への募金活動を兼ねた日本をテーマにしたイベントが開催されました。



催し内容は武道のデモンストレーション、折り紙と書道の体験、マッサージコーナー、お寿司やおにぎりなどの日本食の販売やTシャツなどの物品販売で、沢山の人が訪れ賑わっていました。この日はポリネシア在住の日本人の方々も参加し折り紙や書道を教えたりと活躍されていました。

折り紙コーナーは大人や子供たちが集まり、鶴や手裏剣など色々な物を皆熱心に折り、書道コーナーでは、筆を持った子供たちが見本を見ながら一生懸命筆を握り書いていました。また、お寿司の出店では行列が出来ていて大盛況でした。お寿司を握っていたのは日本人の方ではなかったですが、とっても手際よく作っていました。しばらくならんでようやく買う事が出来ました。



また武道のデモンストレーションでは柔道、合気道、空手、剣道などのデモンストレーションが行われていました。その場所には本格的に畳が敷かれ、各武道ごとに技や形の名前を紹介し説明をしながら披露していました。まさかポリネシアでこんなにも日本の武道が知られ、習っている方が沢山居る事に驚きました。



このイベントを通じて沢山の方に日本の文化に興味を持っていただけたのではないかと思います。





HUAHINE TE TIARE BEACH RESORT

フアヒネ・テ・ティアレ・ビーチ・リゾート

日本地区セールスマネージャー： 佐藤 岳広



～番外編 フアヒネ・テ・ティアレビーチリゾートの紹介 Part-2～

今回はフアヒネ島のアクアリウムを紹介致します。

アクアリウムへはオプションツアーに参加することで訪れて頂きます。オプションツアーは2つあり、

- ① アウトリガーカヌーで行く 1 日ツアー CFP 9,000 per person incl tax
- ② 半日アクアリムシュノーケリングツアー CFP 4,500 per person incl tax

の 2 種類となります。1 日ツアーには、黒真珠養殖場訪問や、パス近くのラグーンでのドリフトシュノーケリング、モツピクニックも含まれており、ランチやお飲み物も含まれています。半日ツアーは 14 時 30 分ホテル発で、アクアリウムを訪れるだけのおよそ 2 時間位のツアーとなります。今回は半日ツアーの方に参加致しました。

ボートに乗り込むと、既に 10 名程の観光客がいて、1 日ツアーが人気でした。ガイドさんに「ジャパン」というありがちなニックネームを付けてもらい、その後、「何故日本人はみんなボラボラばかりに行ってフアヒネには来ないんだ!? 同じくらい美しい島なのに!」と、いきなり軽く釘を刺されてしまいました(笑)。はい、がんばります!



カヌーに乗ること約 15 分、フアヒネの中心の村、ファレの沖合にアクアリウムはありました。透明度はとても高く、着いた時にはもうすでにバタフライフィッシュの大群が泳いでいました。

シュノーケリングマスクを着用して水深 1 メートル 50 センチ程のラグーンに入っていきます。ラグーン内は波に流されないようロープが張ってあり、また、人が立てるように足元が整備されています。ただ、珊瑚が多いので足を切らないようにウォーターシューズを持参されることをお勧めいたします。

ロープにつながりながら水面に顔を付けると目の前には魚の大群が……。また、ここではシャークフィーディングも行っていて、ガイドさんがサメに餌付けをし、その様子を見て楽しむことも出来ます。自分の横を大きなサメが通りすぎていく瞬間はスリルたっぷりです。あいにく水中カメラを持参していなかったのですが、水中カメラがあればもっと迫力がある写真を撮っていたと後悔しています。



フアヒネ島でもマリンスポーツを存分に楽しむことができますので、是非体験してみてください！

